



自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

今からできる
生物多様性

MY 行動宣言
エコラベル
イベント…

VOL.
3

AUTUMN
2012



もう始まっています。

生物多様性の10年

国連生物多様性の10年

2010年10月、愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されました。その主な成果として、生物多様性に関する新たな世界目標である「愛知目標」の決定や、日本の市民団体の発案により日本政府が提案し、その後の国連総会にて定められた「国連生物多様性の10年」などがあります。「国連生物多様性の10年」とは2011年から2020年までの10年間、国内外の社会を構成するあらゆるセクターが連携して、重点的に生物多様性の問題に取り組む期間です。

まずは生物多様性のことを知り、今からできることを考えてみてください。国連生物多様性の10年はもう始まっています。



生物多様性 = Biodiversity

生物多様性とは生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは生命が誕生して以来、40億年という長い年月の中、さまざまな環境に適応して進化してきました。現在、地球上には3,000万種類ともいわれる生きものがあります。ゾウのように大きな動物から植物、小さな微生物まで、ひとつひとつに特徴があり、すべてが直接的・間接的に支えあって生きています。

私たち人類も生きもののひとつであり、他のたくさんの生きものとともに、生態系に支えられて生きています。生物多様性のめぐみを受けてはじめて、私たちは暮らしていくことができるのです。





“もちろんこの冊子（Iki・Tomo）も適切な森林管理の行われている森林資源から作られた FSC® 証製品です。”

商品を



環境に配慮した様々な商品にエコラベルがつけられています。例えば資源保護に配慮した漁法で捕獲された水産物であることを示す MSC マークやマリンエコラベル、適切に管理された森林からの生産物でできた製品であることを示す FSC マーク等があります。これらの商品を積極的に購入することは、海や森林の生物多様性が適切に管理され守られることにつながります。

イベントやキャンペーンに参加しよう

生物多様性を楽しく知ることができるイベントやキャンペーンの一部を紹介します。

「新宿御苑みどりフェスタ」

期間 4月末の1日間

場所 新宿御苑

環境省が主催するみどりに関するイベント。生物多様性に関することが楽しく学べます。

環境省自然環境総務課自然ふれあい推進室
☎ 03-5521-8271

「GTF グレーター TOKYO フェスティバル」

期間 10月の2日間

場所 新宿御苑

生物多様性を意識するためのさまざまなチャレンジを応援する、環境省協賛のイベント。

GTF グレーター TOKYO フェスティバル事務局
☎ 03-3222-6264

「エコライフ・フェア」

期間 環境の日（6月5日）

前後の土曜・日曜の2日間

場所 都立代々木公園

環境月間にあわせて、環境省が主催する屋外イベント。環境に配慮した生活のあり方をさまざまな提案しています。

<http://www.ecolifefair.go.jp>

「グリーンウェイブ」

期間 3月から6月まで

国連が定める「生物多様性の日」（5月22日）に子供たちを中心に世界各地で行われる生物多様性のための植樹キャンペーン。

<http://www.greenwave.go.jp>

♣ 全国の自然体験できるイベント情報はこちらで。…自然大好きクラブ <https://www.env.go.jp/nature/nats/>

できるアクション！
をしよう。

地元でとれたものを食べ、
旬のものを 味わいます。

生の自然を体験し、動物園・植物園などを
訪ね、自然や生きものに ふれます。

自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、
写真や絵、文章などで 伝えます。

生きものや自然、人や文化との
「つながり」を守るため、
地域や全国の活動に 参加します。

エコマークなどが付いた環境に
優しい商品を選んで 買います。

[biodiversity.html](#)

エコラベルの
選ぼう



今からできる 生物多様性の いろいろ。

一人ひとりで今から簡単にできることがあ
ります。まずは生物多様性のために何がで
きるのか、知ることから始めてみましょう。



生物多様性を守るために、私たちに

MY 行動宣言を

ミーティングや セミナーで考えよう。

もっと生物多様性のことを知りたくなったら、国連生物多様性10年日本委員会や政府、自治体、NGO/NPO、地域の博物館や水族館などが主催するミーティングやセミナーに参加するのも手です。国連生物多様性10年の間(2011-2020)、年1回「生物多様性全国ミーティング」が、年数回「生物多様性地域セミナー」が開催され、関連するワークショップやイベントが行われ、政府、自治体、NGO/NPO、文化人などの取り組みについての発表や意見交換が行われています。

<http://undb.jp/activity/meeting.html>

生物多様性初級者は、まずここから始めてみませんか？ 生物多様性のために、私たちができるアクションを選んで「宣言」できます。生物多様性の恵みを受け続けられるように、5つのアクションから自分ができるものをチェックして、今日から行動しましょう！



／ 著名人のみなさんのMY行動宣言を
ウェブサイトで見ることができます。 ／

<http://undb.jp/action/biodiversity>

日本から発信する 生物多様性。

涌井史郎

(造園家・ランドスケープアーキテクト)



わくいしろう 東京都市大
学環境情報学部教授。国連
生物多様性の10年日本委
員会委員長代理。「愛・地
球博」では会場演出総合プ
ロデューサーを務める。



Q 生物多様性について、日本はどのような立場にあるのか教えてください。

A 世界的に見ても、かなり生物多様性への取り組みが進んでいますね。それは2010年10月に愛知県名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の成功があるのでないかと思えます。

Q その成功とは？

A 生物多様性の保全のためには地域のさまざまな企業、自治体、市民団体などが自主的に取り組むことが重要であると認識されたことでしょうか。またそれぞれにパートナーシップを組むことも注目され、実際に実行されています。

さらに開発が保護かという

選択ではなく、日本が提案した第3の道「SATOYAMA INIシアタイプ」に共感を持ってもらえたことですね。人が積極的に環境に関わることによって、人にとっても生物にとっても、よりよいライフスタイルを維持できるという考え方です。

Q 具体的にはどのような活動が進んでいますか？

A 日本の経済界は事実、500社もの企業がこの考えに賛同していますし、各自治体も盛んに動き始めています。そして最後は国民です。人の暮らしそのものが生物多様性の生態系サービスを支えてもらっているということを、ど

う実感してもらえるかですね。人は大地にしっかりと根付いていないと生きていけません。生物多様性を意識しなくても、結果として生物多様性の話なのだと理解してもらえなが大切なのです。

Q 涌井先生の「MY行動宣言」を教えてください。

A 個人として生物多様性にどこまで貢献する暮らしをしていくかはわかりませんが、少なくとも動物語・植物語は得意ですね。つまり今、何という鳥が鳴いているのか、道端に何という花が咲いているのか、外を歩いているだけでたくさん動物や植物と会話をしています。またそれを翻訳して、みんなにも伝えていきます。



生物多様性のことを多くの人に知ってもらうために、2012年9月に旗揚げした関係組織や自治体キャラクターによる広報組織です。10月現在、団員数は56体です。



生物多様性 キャラクター応援団

～全国のキャラクターからのおしらせ～

だなも

(愛知県名古屋市)

名古屋のことを何でも知っている博識者のやっとカメ。自然と平和、スローライフを求めて世界を旅しています。



名古屋市では身近な自然の保全や再生に取り組む拠点として、2011年9月に「なごや生物多様性センター」を設立し、市民、専門家等との協働により、生物調査や保全活動を進めています。10月には「なごやで探そう!カタツムリ」と題して市内30カ所、約400名の市民が参加して、陸貝の調査を実施しました。

タヨちゃんサトくん

となかまたち

(環境省)

いろいろな生きものと話のできる女の子タヨちゃんとその兄サトくんに、さまざまな生きもののなかまたち8種類。



タヨちゃんとサトくんを中心になかまたちが国連生物多様性の10年日本委員会の広報活動をお手伝いします。特に生物多様性キャラクター応援団の中心メンバーとして、同委員会のイベントやセミナーに参加します。

お知らせ

これから行われる 生物多様性の活動。



2012年11月3日(土・祝)に横浜市で「第2回生物多様性全国ミーティング」が開催されます。“タヨちゃんサトくん”と横浜市水環境キャラクター“だいちゃん”による「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」や真珠まりこ氏(絵本作家)の「生物多様性リーダー任命式」の他、委員会が推奨する認定連携事業の取組等の発表や、参加者同士が意見交換を行うワークショップを実施します。詳しくは<http://undb.jp>へ

報告

名古屋市で行われた 生物多様性のレポート



2012年9月29日に名古屋市で市民、企業、NPO/NGO、自治体を対象に「生物多様性地域セミナー」が開催されました。“タヨちゃんサトくん”と“だなも”の「生物多様性キャラクター応援団共同宣言」やジョン・ギャスライト氏の「生物多様性リーダー任命式」の他、愛知目標達成に向けた地域の活動事例の発表やワークショップを行いました。ワークショップで話し合われた内容は、2012年10月にインドで開催されたCOP11のサイドイベントで報告されました。

写真は名古屋市で行われた「生物多様性地域セミナー」の様子。

